

KENWOOD

ナビゲーションシステム

DVZ-2300i
DVZ-2370iT
DVZ-2380iT
HDZ-2400i
HDZ-2480iT

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



目次

取り付け

安全上のご注意	3
取付用部品一覧	6
■ナビゲーションシステム取付用部品	6
■光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300取付用部品	7
取り付けについて	8
■作業時の留意点	8
■作業が終わったら	8
ナビゲーションシステムの取り付け	9
■ナビゲーションシステム本体の取り付け	9
■GPSアンテナの取り付け	10
■リモコン受光部の取り付け	11
光・電波ビーコンVICSユニットの取り付け	12
■VICSユニットの取り付け	12
■ビーコンアンテナの取り付け	14

接続

TV モニターの接続 (DVZ-2300i/HDZ-2400iを単品でお買い上げの場合)	16
■当社製TVモニターを使用する場合	16
■当社製品以外のテレビを使用する場合	16
周辺機器の接続	18
電源の接続	20
オプション機器の接続	22
■携帯電話の接続	22
■ETCユニットの接続	23

◎DVZ-2380iT/HDZ-2480iTをお買い上げのお客様へ

DVZ-2380iT/HDZ-2480iTに付属のボイスコントロールマイク (KNA-VM2300) の取り付け方法は、別途付属しています「KNA-VM2300取付説明書」をご覧ください。

◎光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300をご利用のお客様へ

この取付説明書には、光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300の取り付けかたについても掲載しております。TV同梱のシステムパックDVZ-2370iT/DVZ-2380iT/HDZ-2480iTをお買い上げ、または、光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300を別途お買い上げのお客様は、7ページの「光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300取付用部品」、12～15ページの「光・電波ビーコンVICSユニットの取り付け」、18～19ページの「周辺機器の接続」をご覧ください。

◎ETCユニットETC-2200およびボイスコントロールマイクKNA-VM2300をご利用のお客様へ

これらの機器のご利用に際し、ナビゲーションシステムとの接続、車への取り付けかたおよび電源の接続については、それぞれの機器の取付説明書をご覧ください。

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

📌 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 (続き)

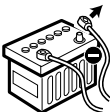
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(5A)以上あることを確認してください。また、本機の他にTVモニターなどを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上が必要です。

車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず〈お買い上げの販売店〉、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。



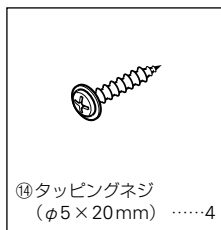
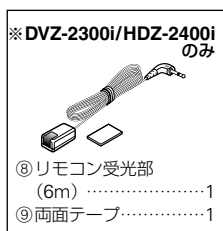
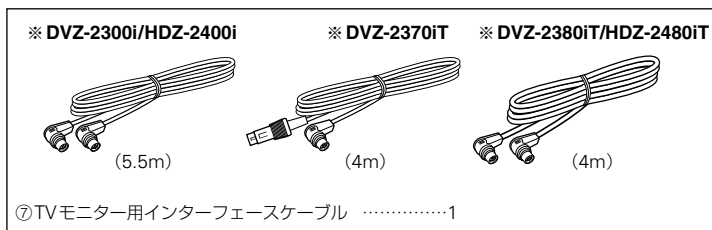
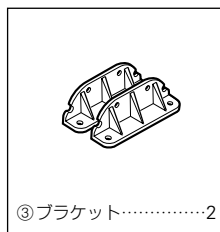
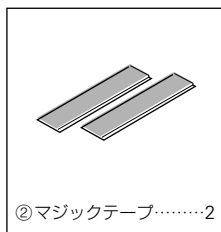
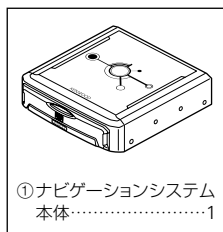
禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

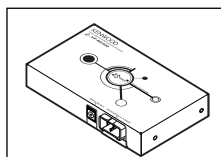
取付用部品一覧

取付作業を始める前に、
以下の部品が揃っていることを確認してください。

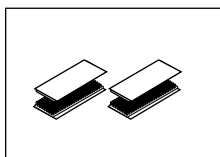
■ ナビゲーションシステム取付用部品



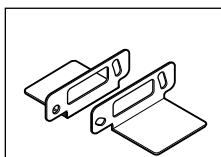
■ 光・電波ビーコンVICSユニット VF-B2300 取付用部品



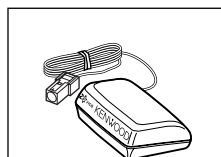
⑮ ビーコンVICSユニット
VF-B2300 本体……………1



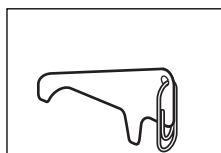
⑯ マジックテープ……………2



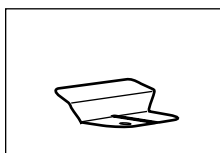
⑰ ブラケット……………2



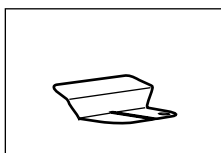
⑱ ビーコンアンテナ(5.5m)
……………1



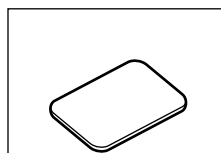
⑲ ビーコンアンテナ
角度調整器具……………1



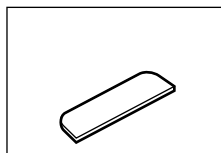
⑳ ビーコンアンテナ
取付金具(10°)……………1



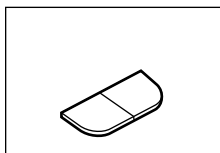
㉑ ビーコンアンテナ
取付金具(20°)……………1



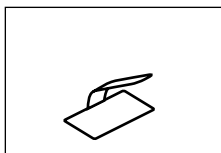
㉒ 両面テープA……………1



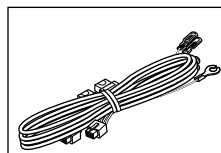
㉓ 両面テープB……………1



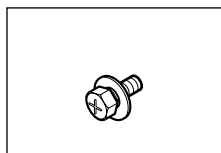
㉔ 両面テープC……………1



㉕ コードクランプ……………1



㉖ 電源・通信ハーネス ……1



㉗ セムスネジ
(M5×8mm)……………4

取り付けについて

■ 作業時の留意点

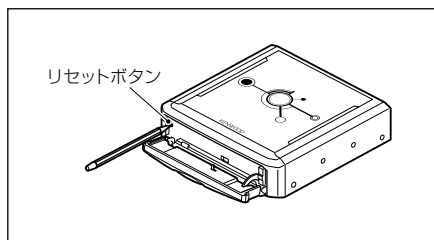
- ノーマルサイズのタッチパネルTVを接続してもタッチパネル操作はできません。
- 各ユニットとも、次のような場所には取り付けないでください。
 - ✓ 直射日光やエアコンの送風が当たる場所・水のかかる場所・高温になる場所
 - ✓ しっかりと固定できない場所
 - ✓ グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステム本体は風通しの良い場所に取り付けてください。通気性の悪い場所に取り付けると、内部の温度が高くなり故障や誤動作の原因となります。

■ 作業が終わったら

取り付け・接続が完了したら、以下の作業が必要です。

◎ナビゲーションシステム本体のリセット

1. 配線に間違いが無いか確認します。
2. 車両のエンジンをかけます。
3. ペンの先などを用い、ナビゲーション本体のリセットボタンを押します。



◎ジャイロセンサーの初期値設定

1. GPS情報が受信されている（画面にGPSマークが表示されます）ことを確認します。
2. 時速40km/h以上で、10km以上走行します。

MEMO

- 障害物（建物・街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションの自車マークの位置は、初期値が設定されるまで実際と大きく異なることがあります。
- GPS情報を受信していない状態で走行を始めると、正しい位置に表示されるまでに長時間かかる場合があります。
- ナビゲーションの自車マークは、プログラム読み込み後から現在地図が表示されるまでの間に、ナビゲーション本体を動かすと正しく表示されないことがあります。このようなときは、ナビゲーション本体のリセットボタンを押してください。

ナビゲーションシステムの取り付け

■ ナビゲーションシステム本体の取り付け

ナビゲーションシステム本体（以下「本体」）の取り付け方法には2通りあります。マジックテープでパイルカーペットに留める簡易的な方法と、オーディオボード（市販品）などにネジ留めする方法です。

〈ナビゲーションシステム本体の取り付け位置について〉

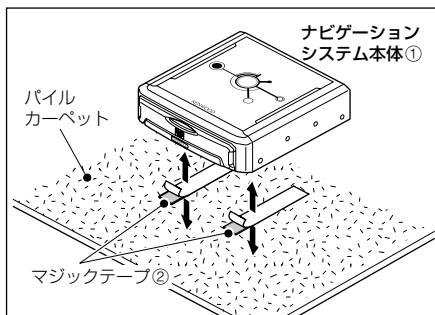
- 本体背面には各種接続端子があります。本体背面側には、ケーブルを接続するためのスペースを確保しておいてください。

—マジックテープを使う場合—

1. マジックテープ②のはくり紙をはがし、本体①の底面に貼ります。
2. マジックテープ面を下にして本体①をパイルカーペット等に押し付け、固定します。

MEMO

- この取り付けかたは簡易的な方法です。振動の影響で動作に問題が生じる場合はタッピングネジを使って取り付けてください。



—ネジ留めする場合—



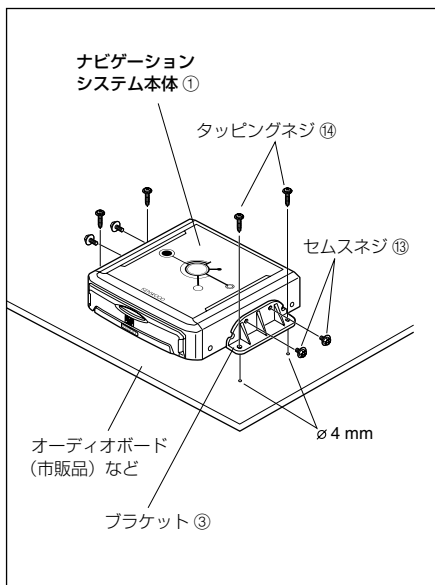
注意

- 必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットなどから本体が外れることがあります。
- 車体に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。ケーブルやパイプを傷つけると事故や故障の原因になります。

1. セムスネジ⑬を用い、本体側面にブラケット③を取り付けます。
2. タッピングネジ⑭を用い、ブラケット③を車両のオーディオボード（市販品）などに固定します。

MEMO

- セムスネジは最初は仮留め程度にとどめておき、車両に取り付けてから締めてください。



ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

■ GPSアンテナの取り付け

〈GPSアンテナの取り付け位置について〉

- GPSアンテナは、車内と車外のどちらにも設置できますが、どちらの場合もGPS衛星の電波を受信しやすいように**できるだけ水平**に取り付けてください。
- 車内への取り付けではGPS衛星の受信状態が車外に比べて悪くなります。車種によってはGPS衛星の電波を受信できないこともありますので、**車外への設置をお勧めします**。
- GPSアンテナおよびGPSアンテナのコードは、携帯電話や無線機などの**電気・電子機器から30cm以上離れた位置**に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPSアンテナをナビゲーションシステム本体に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しづらくなる場合があります。GPSアンテナとナビゲーションシステム本体とは**できるだけ離して**取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。



- GPSアンテナ裏面のテープは取り外さないでください。テープがはがれると、防水効果が低下しGPSアンテナの故障原因になります。

— 車外に取り付ける場合 —

GPSアンテナには磁石が内蔵されています。トランクリッドに磁力で吸着させます。

1. GPSアンテナ用防水パッド⑤をトランクルームの防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。
2. GPSアンテナ④のコードをトランクリッドからトランクルームに引き込みます。

MEMO

- GPSアンテナ用防水パッド⑤を取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。
- 防水およびGPSアンテナコード断線防止のため、GPSアンテナ用防水パッド⑤を使用して取り付けてください。



— 車内に取り付ける場合 —

GPS衛星の電波を受信しやすいようにリアトレイ中央のガラス面に近いところに取り付けます。

1. GPSアンテナ用プレート⑥のはくり紙をはがして設置場所に貼り付けます。
2. GPSアンテナ④をGPSアンテナ用プレート⑥の上に置きます。

MEMO

- GPSアンテナ用プレート⑥を使用しないと受信感度が落ちることがあります。



■ リモコン受光部の取り付け

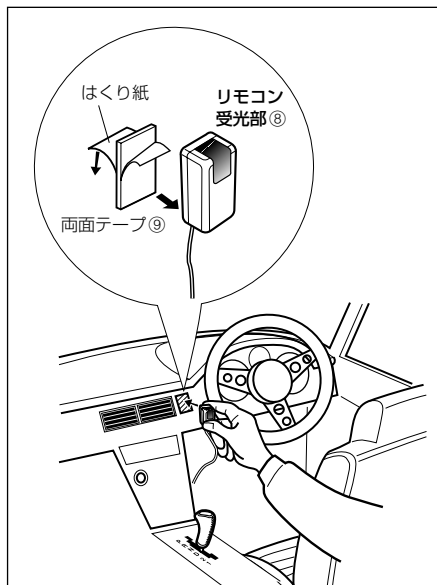
ケンウッド製以外のTVをモニターとして使用する場合には、下記の要領でリモコン受光部を取り付けてください。

※ケンウッド製TVには受光部が内蔵されていますので、取り付ける必要はありません。

1. 両面テープ⑨のはくり紙をはがしリモコン受光部⑧の背面に貼ります。
2. 取り付ける場所の油污れなどをきれいに拭き取り、リモコン受光部⑧を貼り付けます。

MEMO

- 取り付ける面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。
- 直射日光の当る場所やTVモニターの近くは、リモコンの信号が受信されにくいので、避けてください。



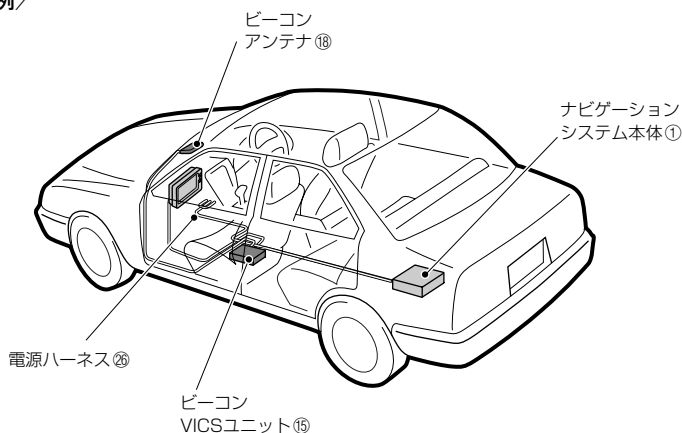
光・電波ビーコンVICISユニットの取り付け

■VICISユニットの取り付け

〈VICISユニットの取り付け位置について〉

- VICISユニット前面には各種接続端子があります。ユニット前面側には、ケーブルを接続するためのスペースを確保しておいてください。

〈レイアウト例〉



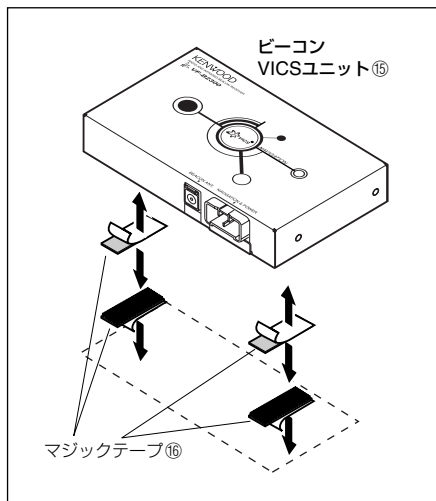
光・電波ビーコンVICSユニットVF-B2300（以下「VICSユニット」）の取り付け方について説明します。

——マジックテープを使う場合——

1. マジックテープ⑯を貼る場所の油污れなどをきれいに拭き取ります。
2. マジックテープ⑯のはくり紙をはがしVICSユニット⑮に貼り付け、固定します。

MEMO

- マジックテープを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。
- マジックテープのオスのみを使用して、カーペットに固定することもできます。



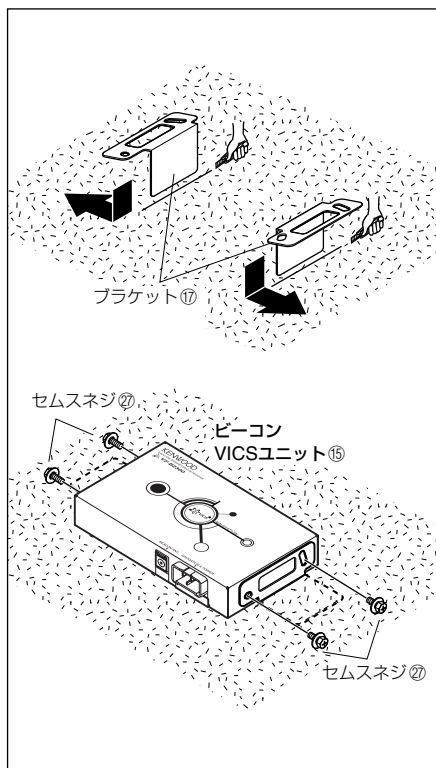
——ネジ留めする場合——



注意

- 必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付金具などから外れることがあります。
- カーペットを切る際、カーペットの下にケーブルやパイプなどが無いか確認してください。ケーブルやパイプを傷つけると事故や故障の原因になります。

1. カーペットに切れ目を入れ、ブラケット⑰を差し込みます。
2. セムスネジ⑳を用い、ブラケットをVICSユニット⑮に取り付けます。VICSユニット⑮が水平になる位置でネジを締めます。

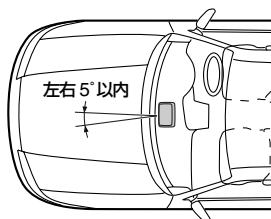


光・電波ビーコンVICSユニットの取り付け (続き)

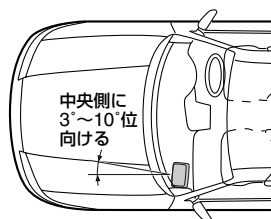
■ ビーコンアンテナの取り付け(1) — 取り付け位置を決める

〈レイアウト例〉

— ダッシュボードの中央への取り付け —
車両前方に対し左右5°以内を向くように取り付けます。



— ダッシュボードの左側への取り付け —
車両前方に対し少し中央側に、左右3°~10°以内を向くように取り付けます。

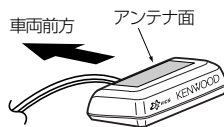


- 金属コーティングフロントガラス装着車の場合、電波ビーコンが受信できないことがあります。
- ビーコンアンテナは防水タイプではありませんので、車外には設置することはできません。



注意

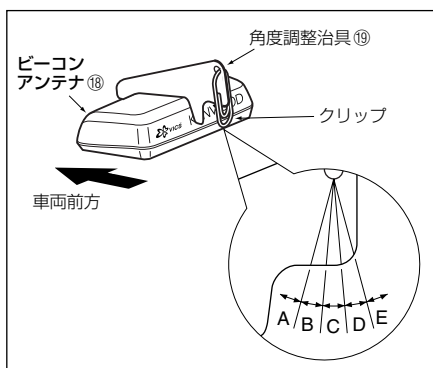
- ビーコンからの信号を正常に受信するため、以下の点にご注意ください。
 - ✓ アンテナ面が車両前方に向くこと (横や逆方向を向かないこと)。
 - ✓ フロントダッシュボード上で、運転の妨げにならず外から見える場所であること。
 - ✓ 前方から見て、ステッカーなどで隠れないこと。
 - ✓ ワイパーの払拭範囲に入ること。
- エアバッグ装置の上または動作の妨げになる位置には取り付けないでください。
- GPSアンテナから20cm以上離してください。
- しっかりと固定できない場所やエアコンの吹き出し口付近には取り付けないでください。
- 両面テープ、コードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し、はがれると事故の原因になります。



■ ビーコンアンテナの取り付け(2) — 取り付け方法を決める

信号の正常な受信のため、ビーコンアンテナは水平に取り付ける必要があります。付属品のビーコンアンテナ角度調整治具 (以下「角度調整治具」) を用い、取り付け面の傾斜に応じた取り付け方法を決めます。

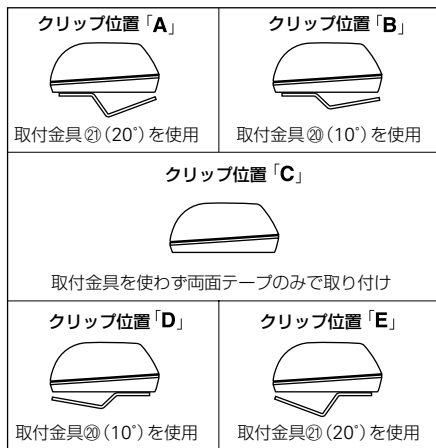
1. ビーコンアンテナ⑱を取り付け面に置いた状態で角度調整治具を当てがい、クリップが示す位置を調べます。



2. クリップの位置（取り付け面の傾斜）に応じた取り付け方法は以下になります。

クリップの位置が…

- A: 取付金具⑳(20°)を使用します。→右図「A」
- B: 取付金具㉑(10°)を使用します。→右図「B」
- C: 取付金具を使用しません。→右図「C」
- D: 取付金具㉑(10°)を使用します。→右図「D」
- E: 取付金具㉒(20°)を使用します。→右図「E」



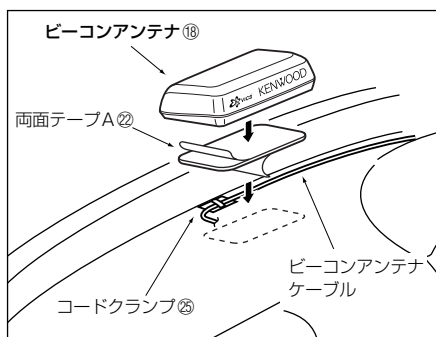
■ ビーコンアンテナの取り付け(3) — 取り付ける

— 角度補正が要らない場合 —

1. 両面テープA⑳のはくり紙をはがしビーコンアンテナ⑱に貼り付け、固定します。
2. コードクランプ㉕でコードを固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

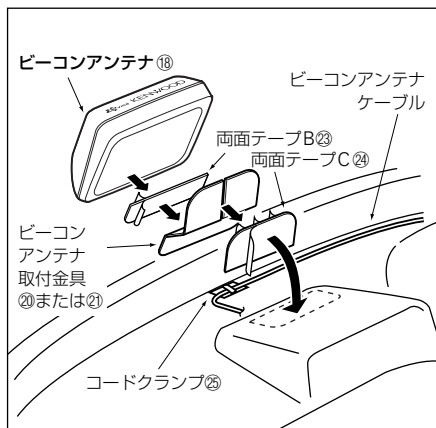


— 角度補正が必要な場合 —

1. ビーコンアンテナ取付金具㉑または㉒に、両面テープB㉓、C㉔を貼り、ビーコンアンテナ⑱に貼り付けます。
2. ダッシュボード上に仮置きし、角度調整治具⑱のクリップが、「C」の範囲内にあることを確認後、ダッシュボードに貼り付けて固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。



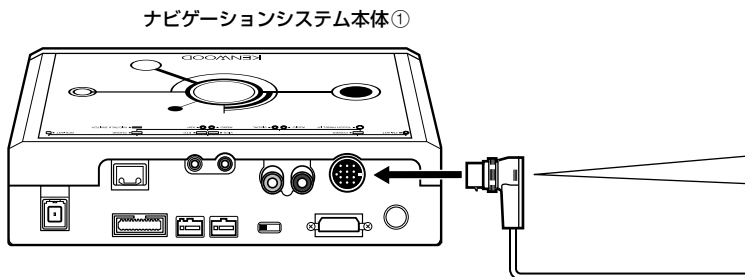
TVモニターの接続 (DVZ-2300i / HDZ-2400iを単品でお買い上げの場合)

■当社製TVモニターを使用する場合

当社製TVモニター (fz-7000等) を使用する場合は、本機に付属のTVモニター用インターフェースケーブル⑦を用い、下記のように接続します。

MEMO

- TVモニターの取り付け方や電源の接続方法は、TVモニターの取付説明書をご覧ください。
- ノーマルサイズのTVモニターを使用する場合は、タッチパネル操作はできません。
- リモコン受光部は当社製TVに内蔵されていますので、取り付ける必要はありません。

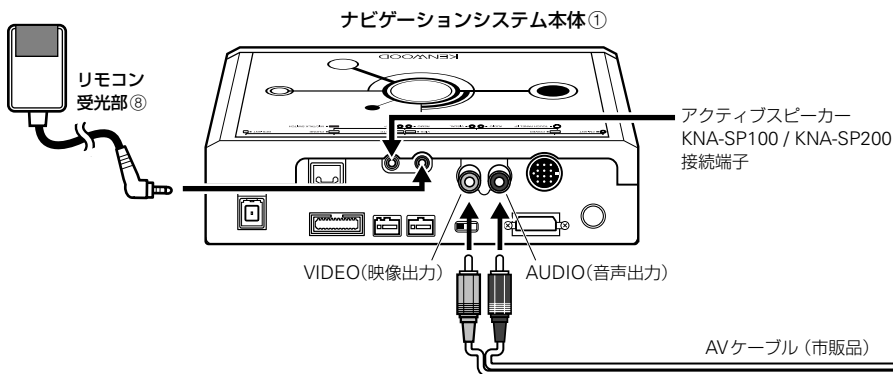


■当社製品以外のテレビを使用する場合

当社製品以外の車載用テレビを使用する場合は、市販のAVケーブルを使用して、下記のように接続します。

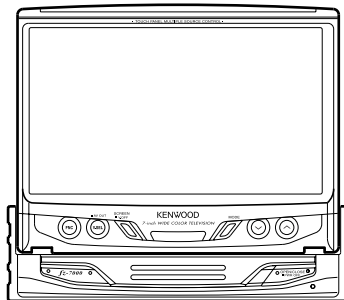
MEMO

- この場合、タッチパネル操作はできません。リモコン受光部を接続しリモコンで操作してください。
- テレビにスピーカーが内蔵されていない場合は、音声案内用アンプ内蔵スピーカー KNA-SP100 / KNA-SP200 (別売品) を使用してください。



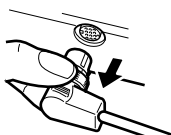
TVモニター同梱のシステムパック DVZ-2370iT/DVZ-2380iT/HDZ-2480iT を
お買い上げのかたは、TVモニターに付属の取付説明書をご覧ください。

当社製タッチパネルテレビ (fz-7000 等)

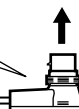


注意

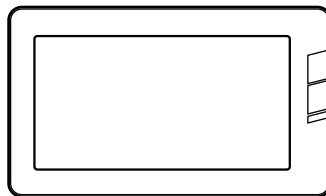
インターフェースケーブルを抜くときは、コネクターのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクターが破損する恐れがあります。



TVモニター用インターフェースケーブル⑦

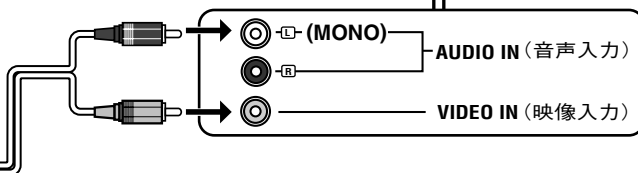


車載用テレビ (市販品)



MEMO

- 音声は L(MONO)側に入力してください。

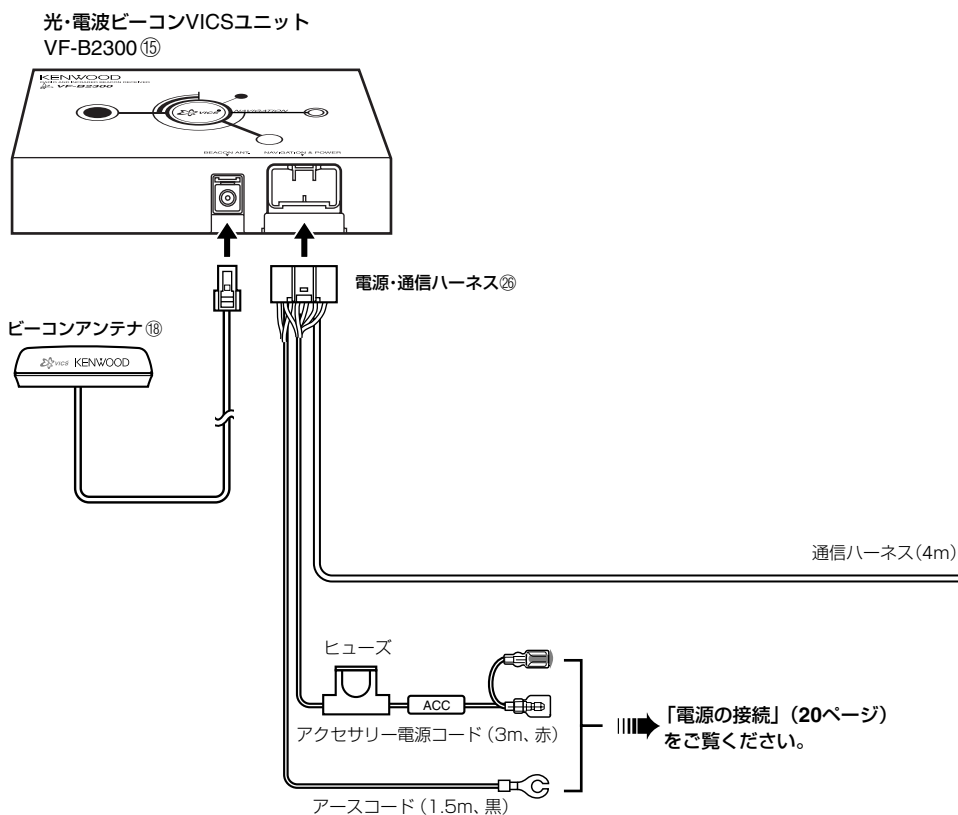


周辺機器の接続

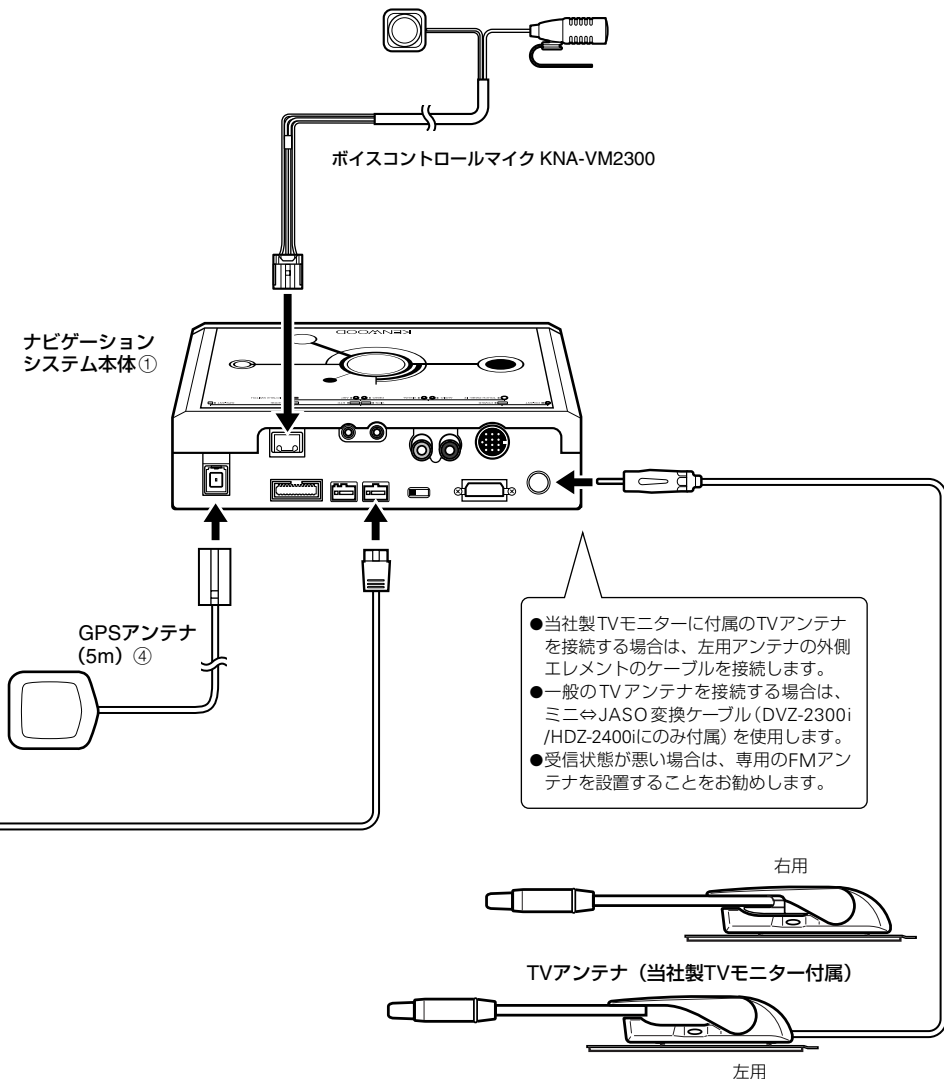
各種周辺機器（GPSアンテナ、VICS受信用FMアンテナ、光・電波ビーコンVICSユニット）とナビゲーションシステム本体との接続は下図の通りです。

MEMO

- TVモニターの詳細な取り付け・接続方法は、TVモニターの取付説明書をご覧ください。



電源については、「電源の接続」
(20ページ)をご覧ください。



電源の接続

1. 電源コードをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
2. 電源ケーブルのプラグをナビゲーションシステム本体①に接続します。
3. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
4. 車両のエンジンをかけて、本体のリセットボタンを押します。



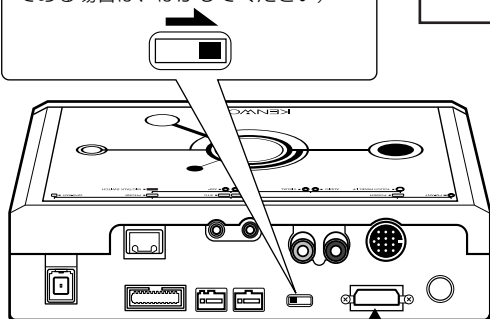
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。



- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは取り外さないでください。

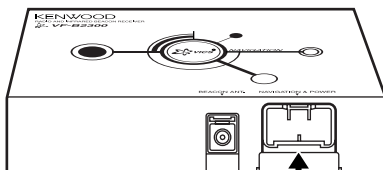
MEMO

BMW車や一部の車両へ取り付けした場合、低速走行時に自車位置マークが動かないことがあります。このような場合は、車速設定スイッチを右側に切り換えてください。(保護シールが貼ってある場合は、はがしてください)

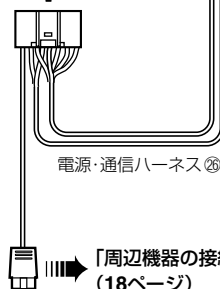


ナビゲーションシステム本体①

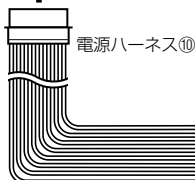
光・電波ビーコンVICSユニット
VF-B2300 ⑮



電源・通信ハーネス⑯



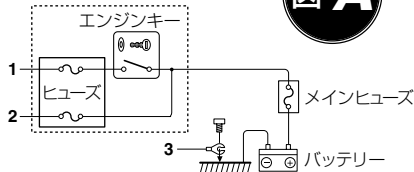
「周辺機器の接続」
(18ページ)
をご覧ください。



電源ハーネス⑯

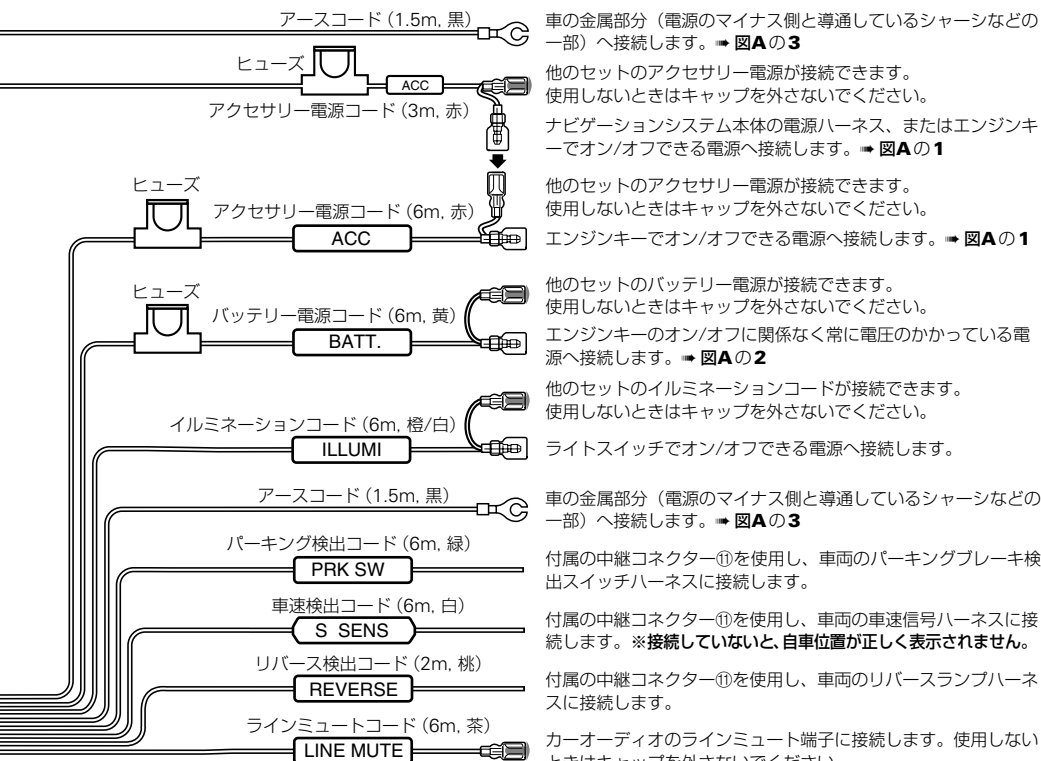
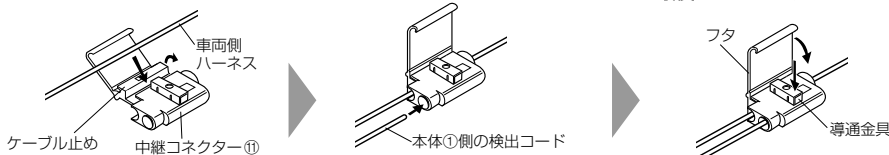


輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。



中継コネクターの使いかた

1. 車両側のハーネスを中継コネクタ⑩に差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。
3. 本体①側の検出コードを中継コネクタ⑩に差し込みます。
4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. 最後にフタをロックします。



車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。⇒ 図Aの3

他のセットのアクセサリ電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

ナビゲーションシステム本体の電源ハーネス、またはエンジンキーでオン/オフできる電源へ接続します。⇒ 図Aの1

他のセットのアクセサリ電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続します。⇒ 図Aの1

他のセットのバッテリー電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続します。⇒ 図Aの2

他のセットのイルミネーションコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。

車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。⇒ 図Aの3

付属の中継コネクタ⑩を使用し、車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

付属の中継コネクタ⑩を使用し、車両の車速信号ハーネスに接続します。※接続していないと、自車位置が正しく表示されません。

付属の中継コネクタ⑩を使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。

カーオーディオのラインミュート端子に接続します。使用しないときはキャップを外さないでください。

※ラインミュート端子の有無は、お使いのケンウッドカーオーディオ付属の取扱説明書をご覧ください。



注意
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

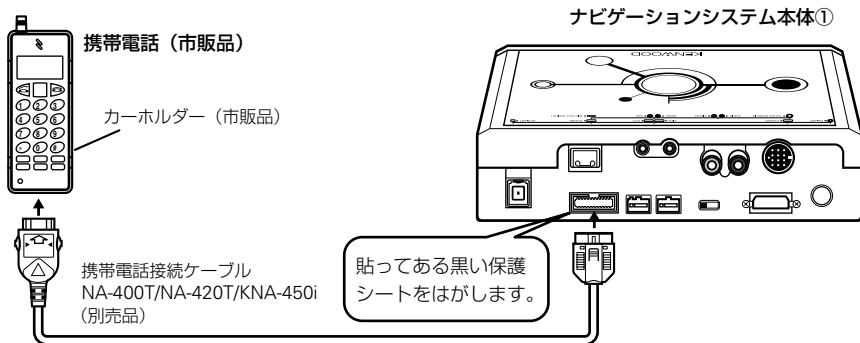


禁止
車速信号検出コードの“S SENS”と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因になります。

オプション機器の接続

■ 携帯電話の接続

別売品の接続ケーブルNA-400T (PDCモデル用)、NA-420T (cdmaOneモデル用)、KNA-450i (iモード対応キット) を使用して携帯電話を接続します。

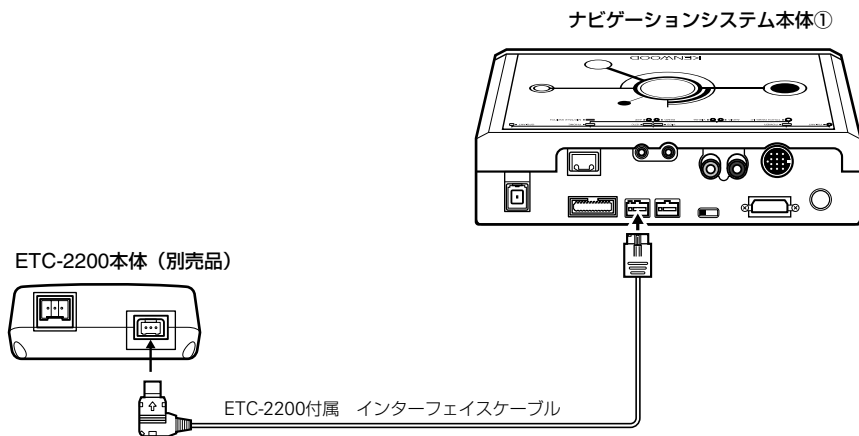


- 「i-mode/iモード」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本製品は、株式会社NTTドコモとは何ら関係がありません。

■ ETCユニットの接続

別売品のETC-2200を接続することができます。ETC-2200付属のインターフェースケーブルを用います。

※詳しい取り付けかたについては、ETC-2200の取扱説明書をご覧ください。



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。